



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

感染拡大に注意しつつ日常生活を守る コロナ禍と地域社会（公民館）

2020年は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本も世界も大きな苦境に陥っています。9月1日現在の日本の感染者数は69,147人、死亡者数は1,295人です。世界での感染者数は約2,580万人、死亡者数は約85,9万人です。

4月11日から公民館の貸館業務が休止され、一宮市公民館事業による行事・各種学習講座の実施が9月まで見合わせとなりました。

毎年実施していた町民運動会、夏の盆踊りが中止になりました。また、公民館が利用できないため、公民館主催の講座や地元のクラブ活動も休止しました。打ち合わせをしようにも喫茶店での会議もできなくなりました。一時は隣の県に行くことさえもためらう状況となりました。

そして、5月25日に新型コロナウイルスの感染症緊急事態の解除宣言が行われ、6月1日からは公民館の一般使用団体への貸出しが始まりました。3密を避けるため、通常の50%の定員で利用しています。なお、公民館事業の講座等は10月から始まります。

利用に当たっては、マスクの着用、手洗い消毒、十分な換気、身体的距離の確保を行っています。8月末現在では新型コロナ禍の前に比べ、利用が7割程度まで戻りました。

今後も感染が拡大したり、縮小したりを繰り返すことが予想されます。なにかと失敗もありますが、日本の医療水準や公衆衛生はそれなりに優れています。慌てず、冷静に自分の生活を守る必要があります。元気を出しましょう！



一宮市神山公民館
新型コロナウイルス感染症対策実施中

ボランティア活動に参加されている皆様へ

いつも私たちの記事を読んでいただき、温かいご声援で後押しをしていただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、社会が活動自粛の空気に満ちています。そんな中、ボランティア活動を行いたくてもなかなか思うように活動できない方々も多いかと思えます。

かくいう我々取材させていただく側も、ほとんどの団体が活動を休止している状況で、いつも通りの取材を行うわけにはいかず、新型コロナウイルス感染症拡大による社会の変化を肌で感じている次第です。

今、我々一人一人ができることは、県や市などで発表される感染症対策のルールをしっかり守り、一日も早く終息へ向かうように心がけることだと思います。

この感染症の流行が終息して、また以前のようにボランティアの皆様のご活動や、ハツラツとした皆様の笑顔が戻り、紙面を賑わす日が早く来ることを願っております。